

サトイモ大規模省力生産技術開発

農林水産研究所

現状の課題

- 土入れ等の重労働を強いられる管理作業
- 近年の疫病の発生による防除回数が増大
- 労働力不足の中でも人手に頼る選果作業
- 廃棄されている親芋の新たな利活用方法

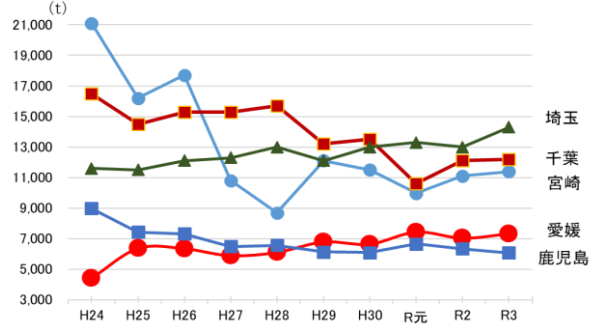


儲かるサトイモをメイン作物に位置付けた大規模省力生産技術

水田露地栽培品目	農業所得 (10a当たり)
サトイモ	334,340円
水稲 (大規模、普通)	39,296円
キャベツ (加工用)	116,907円

愛媛県農業経営指標 (平成28年12月)

サトイモ主要生産県の出荷量推移



水稲の約9倍、キャベツ (加工用) の約3倍となる高い収益性

安定生産技術の開発

省力機械化体系



ドローンによる防除



土壌病害の防除技術

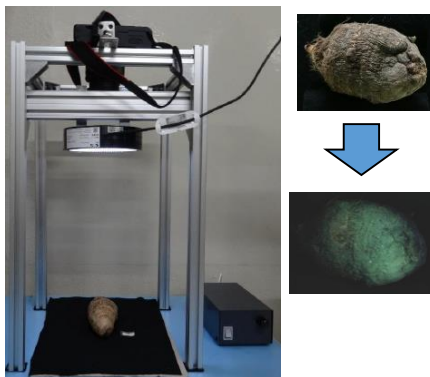


無人選果技術の開発

AI技術を使った選果



腐敗芋の選別技術



親芋利用技術の開発

親芋の大規模飼料化技術



親芋を利用した食品加工技術



新規の生産者を呼び込む



えひめのサトイモ生産の魅力発信!